

# インパクトコンソーシアム 勉強会 第2回 ～パネリスト自己紹介～

2026年2月2日

株式会社 かんぽ生命保険

野村裕之

# 1. かんぽ生命の事業の特徴

## 日本郵政グループにおける位置づけ

主要3事業のひとつとして、  
全国の郵便局を通じて生命保険を販売



※ 保有割合は、2025年3月末時点の議決権の保有割合。

# 1. かんぽ生命の事業の特徴

## かんぽ生命の4つの強み

業界他社と比べて、独自かつ最大級の4つの強みを保有

### 郵便局ブランド

お客さまに安心をお届けする、  
信頼・親近感の「郵便局ブランド」

### ネットワークと人材

全国津々浦々 2万局の郵便局と  
訪問活動を行う1万人のかんぽさん

### お客さま基盤

当社1,700万人のお客さまに加え、  
日本郵政グループのお客さまとも接点

### 資産の力

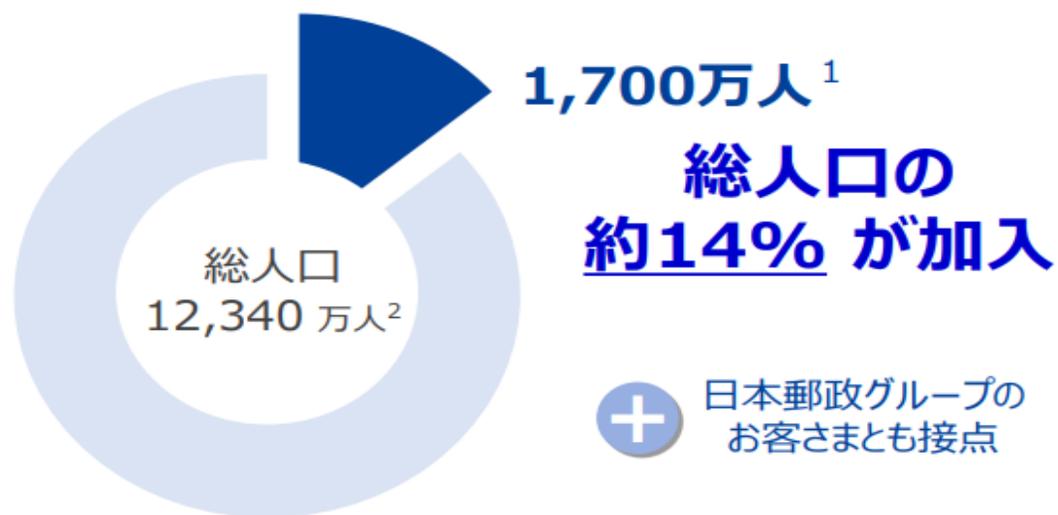
業界最大級の総資産60兆円  
(資産運用や成長分野へ投資の源)

# 1. かんぽ生命の事業の特徴

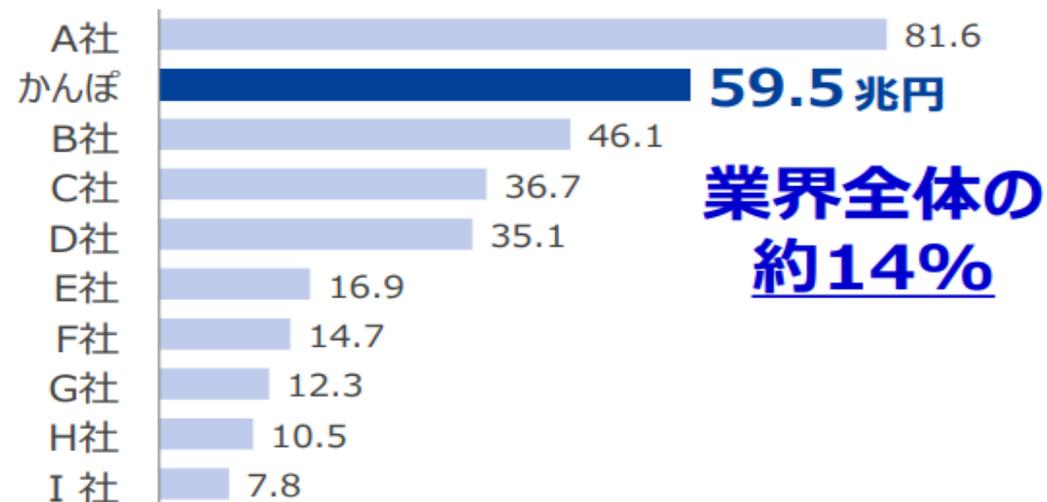
## かんぽ生命の4つの強み - お客様基盤・資産の力 -

### 業界最大級のお客さま数と総資産、保険金等支払額は業界トップ

#### お客さまの数



#### 総資産<sup>3,4</sup>



さらに、保険金等支払金額<sup>5</sup>は **業界トップの年間4兆円超**  
▶▶▶ 生命保険会社としての使命を果たしていることの表れ

1 2025年3月末現在

2 出典：総務省統計局「人口推計」2025年5月1日現在（概算値）

3 出典：各社公表資料

4 国内生保全41社が対象、かんぽの数値は旧契約を含む、他社は国内単体（外資系生保は日本法人）の数値

5 保険金等支払金額は、保険金・年金・給付金の合計

# 1. かんぽ生命の事業の特徴（サステナビリティ経営）

## かんぽ生命とラジオ体操（健康増進・Well-being向上）

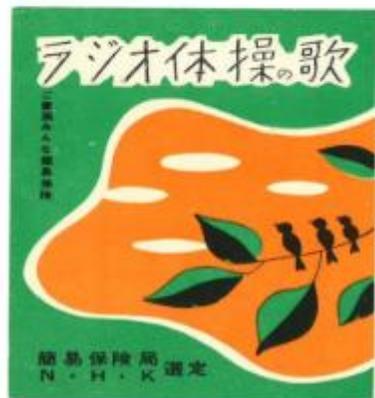
### 地域・社会のみなさまの健康づくりを応援

1928年、当社の前身である**逓信省**  
**簡易保険局**が制定

### 2028年 ラジオ体操100周年

#### ラジオ体操カードの配布

1952年から毎年「ラジオ体操出席カード」を  
作成し、全国の子どもたちに配布



1952年の  
出席カード



2025年の  
出席カード

#### 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

1962年から毎年実施  
NHK総合テレビなどで全国に生放送



2023年は横浜市（写真）、2024年は旭川市で開催  
2025年は広島市で開催予定

ラジオ体操の普及促進・・・「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にできる体操

## 2. かんぽ生命のサステナブル投資(インパクト投資)

# 資産運用における使命/インパクト投資への思い

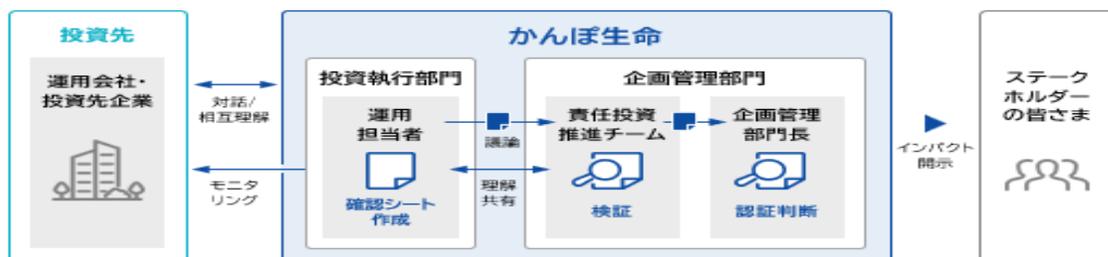


# 3. かんぽ生命のインパクト投資 インパクト“K”プロジェクト

## 【インパクト“K”プロジェクト認証要件】

1	かんぽ生命の経営理念や3つの重点取り組みテーマとの整合性		投資先から創出されるインパクトと、当社の経営理念、サステナブル投資における3つの重点取り組みテーマとの整合性を確認します。	経営理念と重点取り組みテーマ いつでもそばにいる。どこにいても支える。すべての人生を、守りたい。 Well-being向上 地域と社会の発展 環境保護への貢献
2	経済的リターンだけでなく、並行して社会的リターンを創出する		社会や環境に対してポジティブなインパクトとともに、各アセットクラス(株式、債券、PE、不動産等)において通常求める水準と同程度のリターンが見込まれるかという観点から評価します。	
3	ポジティブかつ新たな社会的インパクトを生み出す明確な意図を持つ		運用者や事業者が様々な社会課題の中から、どのような想いで課題を特定し、ターゲットとしているのか、インパクトの創出にしっかりコミットしているかを多面的に評価します。(Intentionality (創出意図))	
4	まだ満たされていない環境や社会のニーズを解決する		社会課題に対して、自らが何を生み出し、それがどのように社会に貢献するのか、課題認識から解決に至るまでの道筋の確からしさと共に検証します。(Additionality (追加性)、Contribution (貢献))	
5	定量的なKPI設定、定期的なモニタリングが可能		創出されたインパクトについて、ターゲットとした社会課題の解決にどのように効果が発現されるか、定量的な目標設定と進捗の確認を求めています。インパクトの要素としては、IMP (Impact Management Project: 現在のImpact Frontiers) が提唱する5 Dimensions of Impactを参考に分析しています。	

## 【認証プロセスとけん制機能】



### 3. かんぽ生命のインパクト投資

# かんぽ(アセットオーナー)発のインベストメントチェーン

責任投資レポート2024により掲載

運用会社や投資先企業の皆さまと共に、  
さまざまな社会課題へアプローチ



Well-being  
向上

環境保護  
への貢献

地域と社会  
の発展

都市部の  
待機児童問題の解消  
都市部好立地の  
不動産運営事業  
保育所の誘致  
(不動産ファンド投資)

知的・精神障がい者の  
雇用不足/  
地方での女性の  
就業機会不足  
株式会社エスプール  
障がい者雇用支援サービス・  
広域行政BPOサービス

アンメット  
メディカルニーズの解消  
Neusignal Therapeutics  
株式会社  
次世代型アルツハイマー  
治療薬の開発事業

がんの末期患者と  
その家族が  
希望を持てる社会  
シェイファーマ株式会社  
特異的ながん治療薬  
開発事業

食糧生産の  
持続可能性の向上  
Little Leaf Farms  
葉野菜の  
ハイテク水耕栽培生産事業

農業と暮らしの  
持続可能化  
株式会社坂ノ途中  
農作物の流通・販売

農業の構造を改革し  
持続可能な成長産業へ  
転換を図る  
株式会社日本農業  
農産物の生産・加工および  
輸出・販売、農業経営  
コンサルティング事業

移動困難者の減少と  
多様な働き方の実現  
newmo株式会社  
タクシー・ライドシェア事業

生産年齢人口の  
減少に伴う  
中小企業での人手不足  
株式会社マネーフォワード  
法人向けクラウドサービス事業

## 4. インパクト投資の実践

# 国内上場株ファンド投資（コモンズ・インパクトファンド）

インパクトを共通言語にファンド参加者が一体となり、インパクトの創出に取り組む



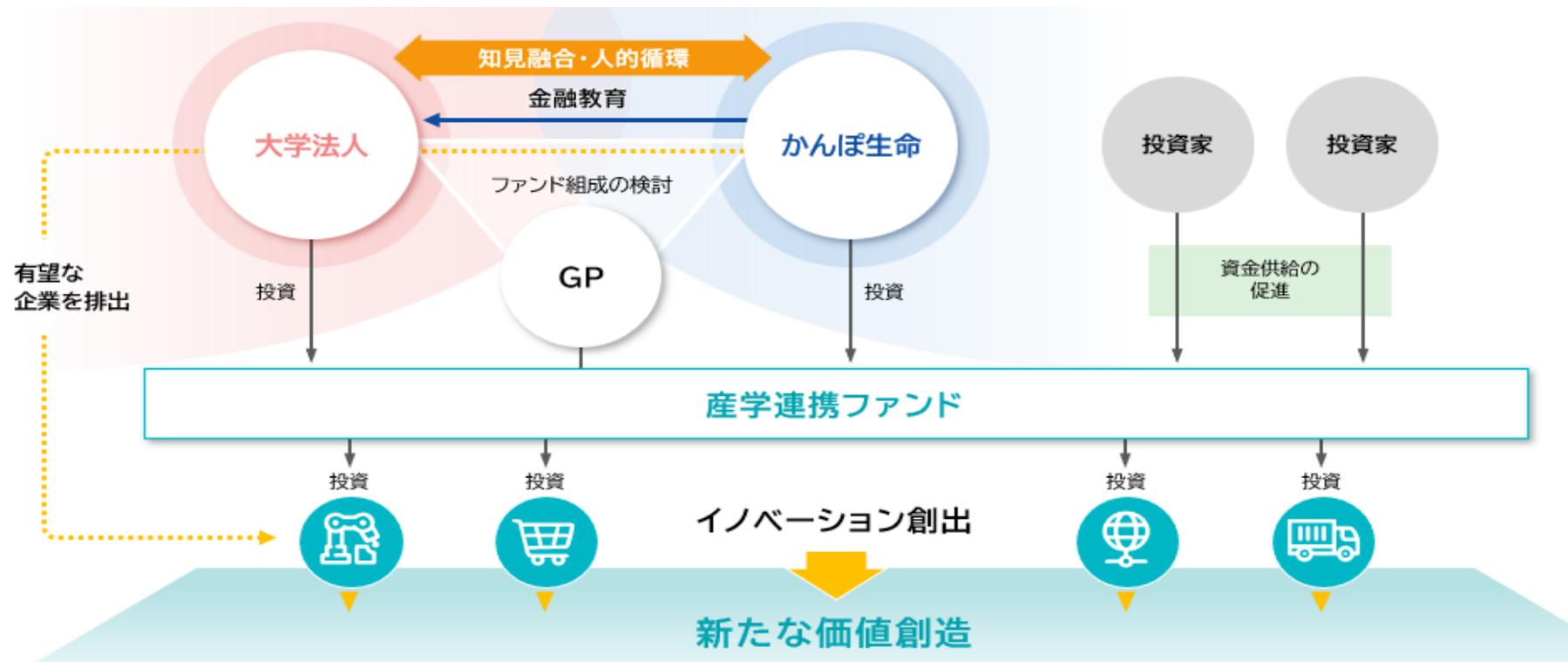
## 産学連携

大学が持つテクノロジーには社会課題の解決に資するものが多数

⇒大学発のスタートアップに資金供給する枠組み



## 産学連携ファンド ~インパクトファンドの立ち上げ



	ファンド名称	運用会社	投資対象
慶應義塾	KII3号インパクト投資事業有限責任組合	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ	「すべての人の健康で幸福な人生を達成する」という理念の実現に沿い、デジタル・テクノロジーによる社会の革新や、医療・健康などの課題解決に取り組むディープテックスタートアップ企業
立命館	インパクト・キャピタル1号投資事業有限責任組合	インパクト・キャピタル株式会社	「一人ひとりのWell-Beingの最大化」を中心に捉え、「多様性」と「選択肢」の提供に資するキャリア、ケア、暮らし、街づくり、環境の分野にて社会的インパクトを創出する事業
大阪大学	D3バイオヘルスケアファンド2号投資事業有限責任組合	D3 LLC	日本発での世界の医療健康に貢献するスタートアップ (医薬医療機器、アナリティクス・ソフトウェア、次世代ウェルビーイング、アンチエイジング、フード&アグリ、等)



# 2025 Impact Forum by GIIN (\*)

2025年10月7日～9日 ベルリン



参加者 約1,300名 (対面)

(\*) Global Impact Investing Network : インパクト投資の推進(普及・啓発)を目的とした国際イニシアティブ

## 取組事例

### Forbes JAPAN「『インパクト・エコノミーの未来』を創る100人」への選出

グローバルビジネス誌「Forbes JAPAN」2025年3月号の特集“社会課題の解決と経済成長を両立させ、社会にポジティブな影響を与えるという難題に挑む日本のリーダー100人”に、当社専務執行役・春名貴之および当社執行役・野村裕之が選出されました。引き続き、安定的な資産運用収益の確保と、お客さまが安心して生活できるより良い社会の実現を目指し、社会課題の解決に資するインパクト投資を実施していきます。



専務執行役 春名 貴之



執行役 野村 裕之

## 取組事例

### GIIN日本会合における共同議長への就任

#### インパクト志向の投融資の拡大と日本のインパクト投資市場の発展に向けて

ユニバーサルオーナーとして、インパクト志向の投融資の拡大を推進するため、当社は、2024年にインパクト投資に係る国際的なネットワークであるGIIN<sup>(注)</sup>に加盟しました(国内の生命保険会社として初)。さらに、日本におけるインパクト投資の規模拡大に向けた議論と取り組みを拡充するため、2025年に発足したGIIN日本会合の共同議長として、当社執行役・野村裕之が任命されました。当社は、日本のインパクト投資市場の更なる発展に向け貢献していきます。



執行役 野村 裕之

(注)「Global Impact Investing Network」の略。世界中のインパクト投資の規模拡大と実効性向上に専念し、現在、世界中に400以上の会員組織を持つインパクト投資の世界的な推進機関